

事業完了報告書（堺市）

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 令和7年3月5日
調査研究事項	IV. その他夜間中学における教育活動充実に関すること ・ よりよい学校生活を送るための効果的な学校行事や校外学習等の在り方について
調査研究のねらい	よりよい学校生活を送るための効果的な学校行事や校外学習等の在り方について 本市夜間学級の在籍者数は令和6年9月10日現在101名であり10代から80代までの幅広い年齢層に加え、義務教育未修了者や入学希望既卒者、外国籍の者等、受け入れる生徒は多様化している。特に外国籍や外国にルーツがある生徒が約9割在籍しており、言語や文化の違いなどで日本語によるコミュニケーション不足に陥り、学校生活に馴染むことができない生徒がいる。また、全体の約1割の高齢の生徒の中には、日本語の読み書きができないことが原因で、社会生活において困難が生じる生徒や、人間関係において馴染めず、自尊感情が低くなった生徒もいる。 本調査研究は、そのような生徒たちが、同じ授業を受ける生徒と関わるだけでなく、他学級の生徒と一緒に活動できる学校行事や校外学習、他校の生徒と活動できる近畿夜間中学校協議会の三大行事（新入生歓迎集会、連合運動会、連合作品展）に参加することによって、自尊感情が回復することと相互理解が向上することをねらいとする。それらの行事等を通じて、生徒が感じたことを発表する場を設け、生徒が自己表現することで自尊感情を回復させ、他者と共通する部分や異なった部分を知ること、で、「多文化共生」、「相互理解」を学び、学校生活に充実感を得ることができると考える。校外学習は、体験活動に取り組むことで、日々の学習を深め、日本の文化に慣れ親しむことができ、学齢期に十分学べなかった生徒や外国籍の生徒たちの学習意欲の向上につながると考える。
調査研究の成果	【5月】新入生歓迎集会（奈良県社会福祉総合センター） ・ 新入生と在校生が、自校及び他校の生徒や教職員の前で学校紹介を行い、学級歌を歌った。生徒会集会では、自校だけでなく他校の様々な国籍の生徒の意見を聞くことで、多文化共生についての理解を深めることができた。 【5月】新入生歓迎スポーツ大会 ・ 競技者に対して、生徒一人ひとりが自然と大きな声で応援し校内で新入生と在校生が親交を深めるきっかけとなった。 【7月】校外学習の事前学習

	・社会科において、地図帳を使って三重県の地理的位置を確認し特産物や名所についても学習した。 【９月】校外学習（三重方面） ・学校生活の大部分を占める授業クラスの枠を越え、施設見学や体験学習を行い、昼食時等では生徒同士の交流を行うことができた。 ・忍者村では、忍者ショーを見たり手裏剣を投げたりする体験を行い、日本の文化に触れた。また、バス内では様々な国の音楽を聴いたり、歌ったりして多文化共生を図ることができた。 【１０月】校外学習の事後学習 ・学校生活や校外学習での体験等から今後がんばりたいことを「えんぴつポスター」にまとめた。「日本語を勉強して介護福祉士になってもっと日本人と交流したい。いろんなところに旅行したい。」と表現した生徒もいた。 【１０月】芸術鑑賞 ・サックス四重奏（弘済会フレッシュコンサート）を行った。生徒たちは音楽鑑賞を楽しみ、サックスの種類の違いについて学んだ。 【１０月】連合運動会の予行練習 ・生徒同士で相談しながら参加する競技を決定し、連合運動会に向けて競技ごとに練習を行い、ルールを確認した。 【１０月】連合運動会（東大阪アリーナ） ・連合運動会は中止となったが、校内で運動会を行った。今まで練習した競技や、最後には夜間節を参加者全員で踊った。夜間節の踊りを知らない生徒に対して、踊りを教えている生徒の姿も見られた。 【１０月】学習発表会・展示の部 ・昼間と同時開催を行った。生徒は自分たちの作品と昼間の生徒の作品を鑑賞し、刺激を受けていた。「次、美術科及び家庭科技術科、書道等の作品を作るときはこんな風につくりたい」と想像をふくらませて語っている生徒もいた。 【１１月】学習発表会・発表の部 ・当日まで、作文の作成や学習のまとめに取り組み、他の生徒や家族の前で、４月から授業で学んだ内容や日頃の学習の成果を舞台上で発表した。入学当初、日本語が話せない生徒が舞台で日本語で自国・自己紹介をすることができた。今後、生徒にとって良い経験になると考えられる。 【１２月】全国夜間中学校研究会大会（東京都足立区）
--	--

- ・職員が参加し、他校の取り組み等を記載した大会冊子を他の職員に配付した。

【2月】連合作品展（大阪市立天満中学校）

- ・共同作品として「応援ののぼり」を学年や学級で担当分担し作品を完成させた。連合作品展には個人作品及び共同作品を出展した。共同作品の作成時には、デザインや色をどのようにすればよいか生徒同士の話し合いで決定し、相互理解につなげた。連合作品展見学では、他の学校の作品をみて「すごい。」「こんなのを作ってみたい。」「これどうやってつくるの。」などいろいろな生徒の声があった。

【毎月1回】初心の日

- ・今月の目標及び行事の周知や、誕生日の生徒のお祝い、生徒の日本語での作文発表等を実施した。なぜ学んでいるのか、将来の夢など、生徒が様々な想いを伝え、意義深い場となった。

これらの行事ごとの「学習意欲」や「多文化共生」、「相互理解」の効果について、下表のように分析し、学校ホームページ等で発信する予定である。※「○」：効果があると考えられる

	学習意欲	多文化共生	相互理解
新入生歓迎集会		○	○
新入生歓迎スポーツ大会			○
校外学習の事前学習	○		
校外学習		○	○
校外学習の事後学習	○		
芸術鑑賞	○		
連合運動会の予行練習			○
連合運動会(中止：校内で実施)			○
学習発表会・展示の部	○		
学習発表会・発表の部	○	○	○
連合作品展	○	○	
初心の日	○	○	○

○過去の校外学習及び近畿夜間中学校連絡協議会の三大行事の生徒参加率

- ・本事業を活用していない行事との参加率の比較検証（平成30年度～令和6年度）を下表に示す。

(表) 三大行事及び校外学習の参加率（％）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
新入生歓迎集会	16.2	11.9			13.2	24.0	17.6
連合運動会	10.6	11.5			21.6	24.2	
連合作品展	8.9	10.0			12.7	12.1	12.9
校外学習	11.0	11.8			23.5	24.2	21.8

- ・太字：委託事業による貸切バス借用
- ・斜字：生徒会費による貸切バス借用
- ・R2及びR3は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・R4までは泊を伴う校外学習

○学校行事の参加生徒人数と学校行事が実施される月単位の生徒出席人数との関係

(表)出席人数に対する参加人数の割合（％）

	R4	R5	R6
新入生歓迎集会	49.6	68.2	60.2
連合運動会	75.9	69.0	
連合作品展	69.9	56.7	86.1
校外学習	88.6	67.7	92.4

○生徒が校外行事等の学校行事に安全・安心に参加できる環境を作るため、生徒の参加費用の軽減及び体力的な負担軽減等の支援を行った。具体的には、大阪府外に移動する際に、貸し切りバスを利用し、また、できるだけ拝観料や体験費用が安い施設を選択した。体力的な負担軽減のため、学校行事をできるだけ自校で行い、安全対策として車いすを2台確保している。

○各行事後のアンケート及び感想文等、話し合い活動等を通じて各行事で学んだことを振り返り、生徒が自分自身の言葉で「えんぴつポスター」にまとめ、学活の会等で発表した。これらの中で日々の学習意欲が向上し、達成感や充実感を得られ自尊感情向上につながれると考える。

○生徒へ学校行事の内容等を周知する方法として、事前授業及び行事案内の校内掲示、学級活動で行事の説明や予行練習を行った。これらの周知方法は、登校している生徒だけに効果があった。学校行事等の参加率を上げるためには、登校していない生徒に対して周知方法を考える必要がある。